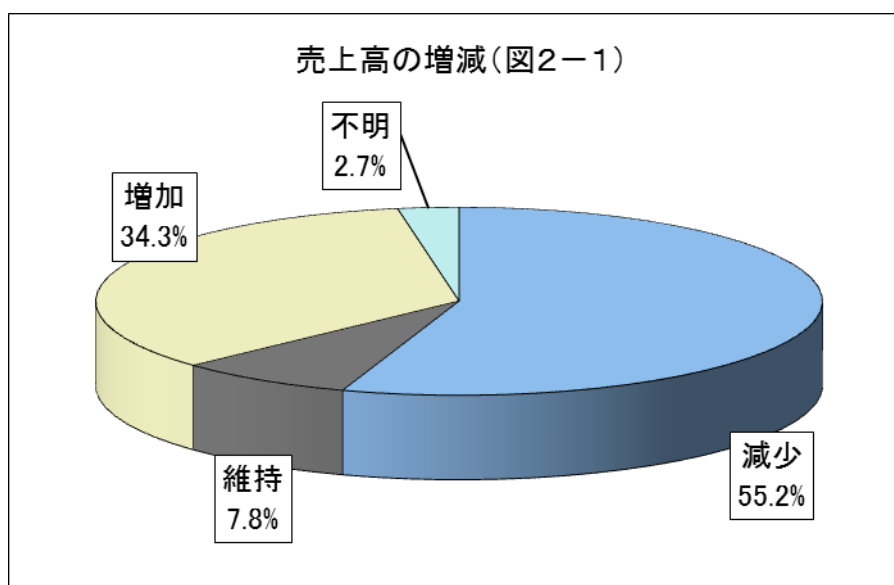


2 営業成績の状況

(1) 売上高の増減

仲卸業者全体のうち、前期に比べて売上高を増加又は維持した仲卸業者は42.1%であった。5割以上の仲卸業者が売上高を減少させており、前年に比べて減少した業者の割合は3.6ポイント増加した。

※ 前年調査 減少51.6%、維持8.6%、増加35.4%、不明4.4%



売上高の増減を部類別にみると、水産物部及び青果部では減少した業者が最も多く、花き部及び食肉部では増加した業者が最も多い結果となった。

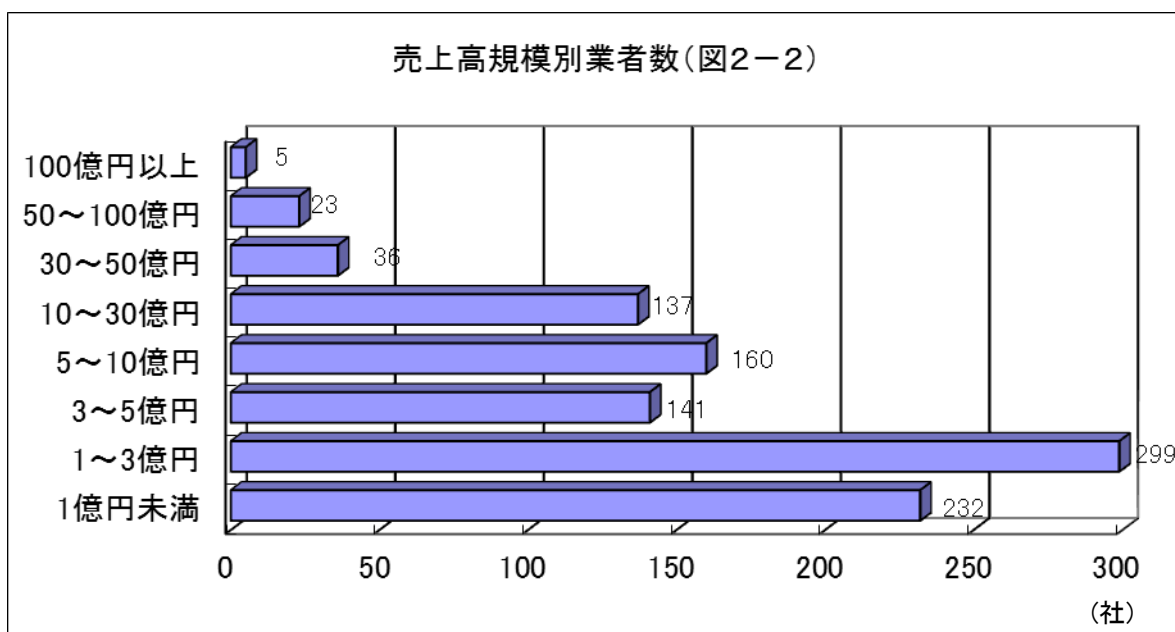
部類別・売上高の増減(表2-1)

	増加した業者	維持した業者	減少した業者	不明
全体	34.3%	7.8%	55.2%	2.7%
水産物部	31.9%	8.1%	56.8%	3.2%
青果部	33.0%	6.4%	58.4%	2.2%
花き部	51.2%	18.6%	30.2%	0.0%
食肉部	80.8%	0.0%	19.2%	0.0%

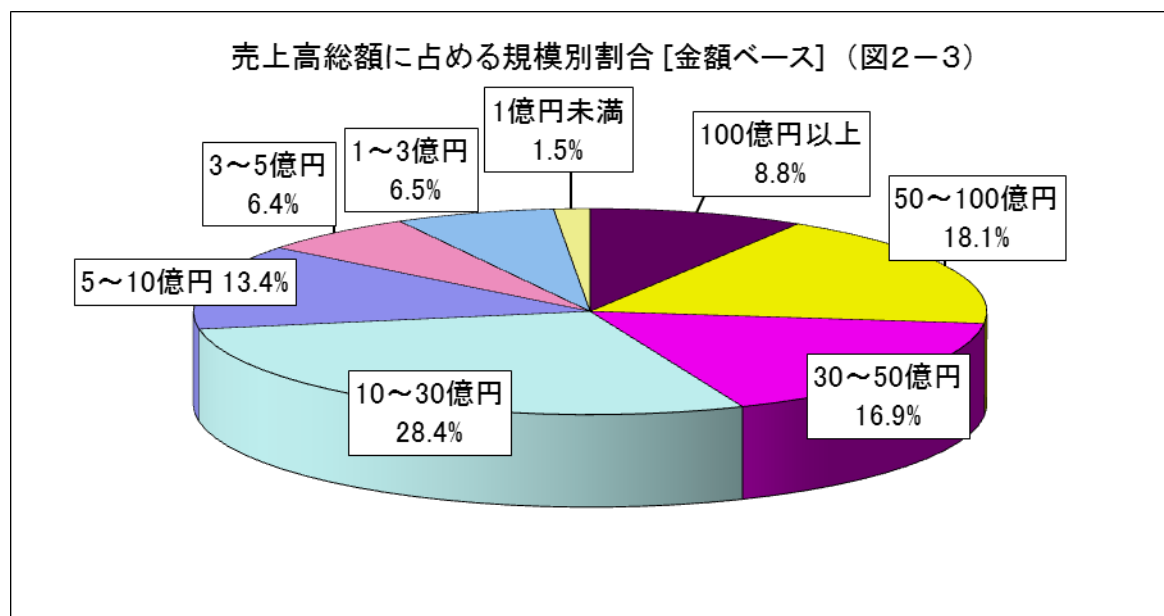
※ 維持は、前年比1%未満の増加及び減少。

(2) 売上高の規模別業者数

仲卸業者全体のうち、約半数（531社、51.4%）は、売上高が3億円未満の業者となっている。



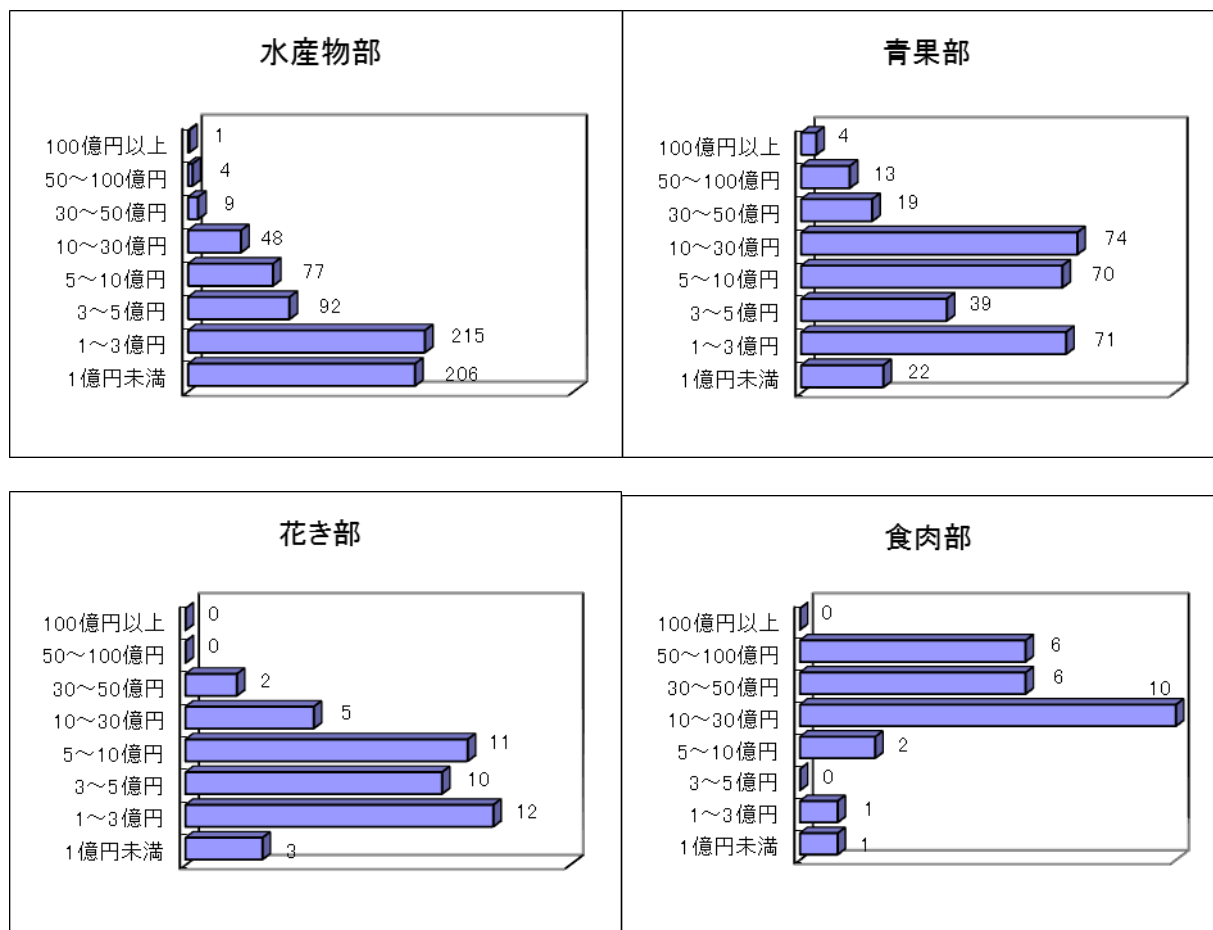
金額ベースにした売上高総額に占める規模別割合で見ると、約半数を占める3億円未満の業者のシェアは8.0%にすぎない。



(3) 売上高の規模別・部類別業者数

売上高の規模別で見ると、水産物部及び花き部では1億円～3億円の層が、青果部及び食肉部では10億円～30億円の層が最も多くなっている。

売上高規模別・部類別業者数 (図2-4)



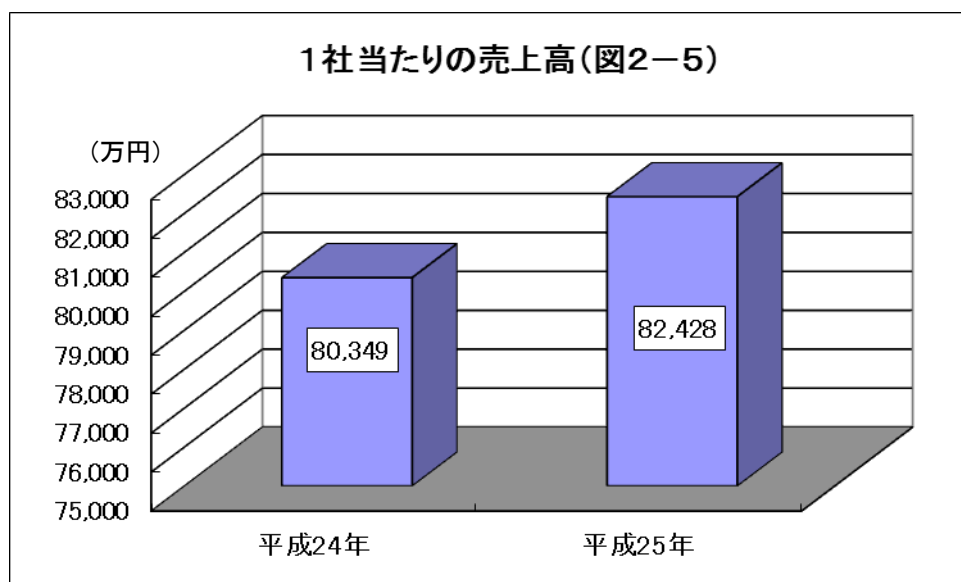
売上高規模別・部類別業者数(表2-2)

単位：社

	全 体	水 産 物 部	青 果 部	花 き 部	食 肉 部
100億円以上	5 (0.5%)	1 (0.2%)	4 (1.3%)	0 (-)	0 (-)
50～100億円	23 (2.2%)	4 (0.6%)	13 (4.2%)	0 (-)	6 (23.1%)
30～50億円	36 (3.5%)	9 (1.4%)	19 (6.1%)	2 (4.7%)	6 (23.1%)
10～30億円	137 (13.3%)	48 (7.4%)	74 (23.6%)	5 (11.6%)	10 (38.5%)
5～10億円	160 (15.5%)	77 (11.8%)	70 (22.4%)	11 (25.6%)	2 (7.7%)
3～5億円	141 (13.6%)	92 (14.1%)	39 (12.5%)	10 (23.3%)	0 (-)
1～3億円	299 (28.9%)	215 (32.9%)	71 (22.8%)	12 (27.8%)	1 (3.8%)
1億円未満	232 (22.5%)	206 (31.6%)	22 (7.1%)	3 (7.0%)	1 (3.8%)
合 計	1,033	652	312	43	26

(4) 1社当たりの売上高

仲卸業者全体の1社当たりの売上高は、前年の8億349万円から8億2,428万円と、2,079万円(2.6%)増加した。



部類別にみると、前年に比べすべての部類で増加した。

1社当たりの売上高(表2-3)

	平成24年	平成25年	増減率
全体	80,349 万円	82,428 万円	102.6 %
水産物部	43,617 万円	45,370 万円	104.0 %
青果部	141,942万円	141,977 万円	100.0 %
花き部	71,298 万円	73,270 万円	102.8 %
食肉部	275,857 万円	312,287 万円	113.2 %

(5) 売上総利益率の変化

売上総利益率（いわゆる粗利益率）は、全体では前年に比べ0.19%上昇した。部類別にみると、水産物部及び青果部では上昇し、花き部及び食肉部では下降した。

売上総利益率（表2-4）

	平成24年	平成25年
全体	12.75 %	12.94 %
水産物部	14.67 %	14.91 %
青果部	11.88 %	12.34 %
花き部	16.71 %	16.38 %
食肉部	8.94 %	7.74 %

売上総利益率が上昇した業者数と下降した業者数の割合をみると、全体では6割近い業者が上昇した。部類別にみると、水産物部、青果部及び花き部では上昇した業者が半数を超えた。その一方で、食肉部では下降した業者が7割弱となった。

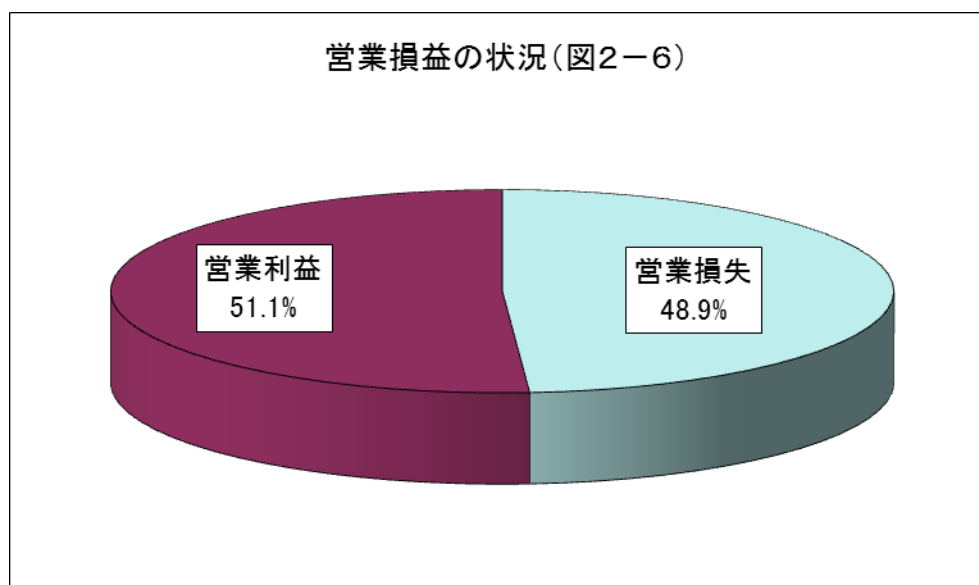
売上総利益率の変化（表2-5）

	上昇した業者	下降した業者	不明
全体	58.4 %	38.9 %	2.7 %
水産物部	58.5 %	38.3 %	3.2 %
青果部	61.3 %	36.5 %	2.2 %
花き部	53.5 %	46.5 %	0.0 %
食肉部	30.8 %	69.2 %	0.0 %

(6) 営業損益の状況

営業利益(黒字)を計上した業者の割合が51.1%、営業損失(赤字)を計上した業者の割合が48.9%と、前年に比べ、黒字となった業者の割合が増加した。

※ 前年調査では、黒字：赤字 = 44.7%：55.3%



部類別に営業利益を計上した業者をみると、水産物部、青果部及び花き部では半数以上の業者が黒字となった。その一方で、食肉部では半数以上の業者が赤字となった。

営業損益の状況 (表2-6)

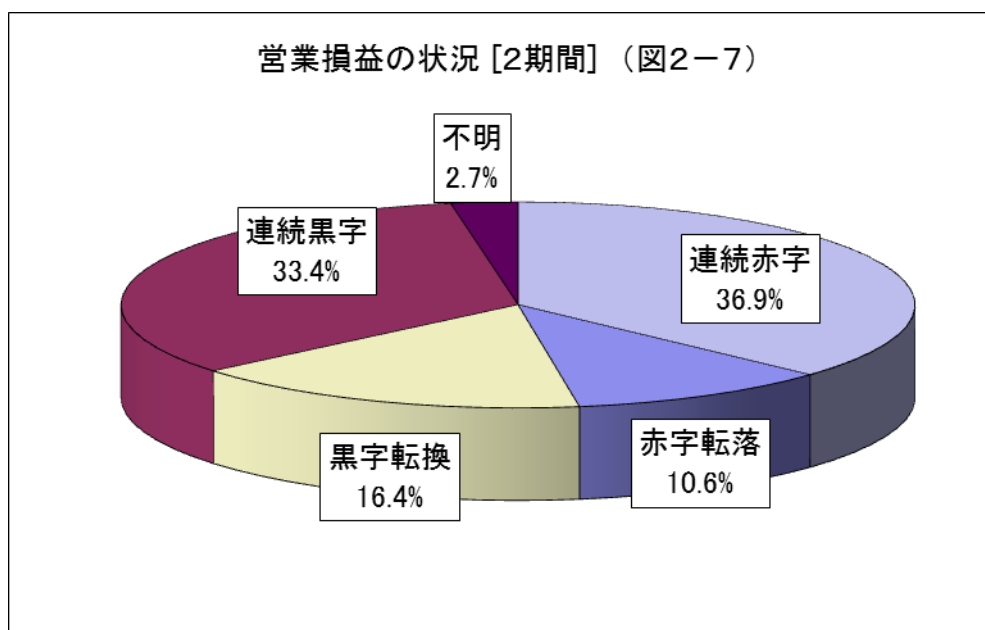
() 内は前年調査の数値

	営業利益 [黒字業者]	営業損失 [赤字業者]
全 体	51.1 % (44.7%)	48.9 % (55.3%)
水産物部	50.5 % (40.9%)	49.5 % (59.1%)
青果部	52.6 % (50.6%)	47.4 % (49.4%)
花き部	55.8 % (59.1%)	44.2 % (40.9%)
食肉部	42.3 % (46.4%)	57.7 % (53.6%)

(7) 営業損益の状況 (2期間)

営業損益が2期連続して黒字計上となった業者数は33.4%、連続赤字計上の業者は36.9%となった。黒字に転換した業者は16.4%、赤字に転落した業者は10.6%となった。

※ 前年調査 連続黒字24.8%、連続赤字43.7%、黒字転換17.9%、赤字転落9.2%



部類別にみると、2期連続黒字となった業者は、最も多い花き部で41.8%であった。また、黒字に転換した業者の割合は水産物部が、赤字に転落した業者の割合は食肉部が最も多くなった。

営業損益の状況 (2期間) (表2-7)

()内は前年調査の数値

	連続黒字業者	黒字転換業者	赤字転落業者	連続赤字業者	不明
全体	33.4% (24.8%)	16.4% (17.9%)	10.6% (9.2%)	36.9% (43.7%)	2.7% (4.4%)
水産物部	30.7% (20.1%)	18.1% (18.4%)	9.5% (8.8%)	38.5% (47.1%)	3.2% (5.6%)
青果部	38.2% (33.6%)	13.5% (15.8%)	11.5% (7.7%)	34.6% (40.6%)	2.2% (2.3%)
花き部	41.8% (36.4%)	14.0% (22.7%)	16.3% (20.4%)	27.9% (18.2%)	0.0% (2.3%)
食肉部	30.8% (21.4%)	11.5% (21.4%)	19.2% (17.9%)	38.5% (35.7%)	0.0% (3.6%)

(8) 営業利益率の変化

営業利益率は、全体としては前年に比べ上昇した。部類ごとにみると、水産物部は上昇しプラス転換した。青果部及び花き部は上昇、食肉部は下降した。

営業利益率（表 2 - 8）

	平成 24 年	平成 25 年
全 体	0.16 %	0.34 %
水産物部	△0.32 %	0.17 %
青果部	0.52 %	0.62 %
花き部	0.28 %	0.31 %
食肉部	△0.17 %	△0.59 %

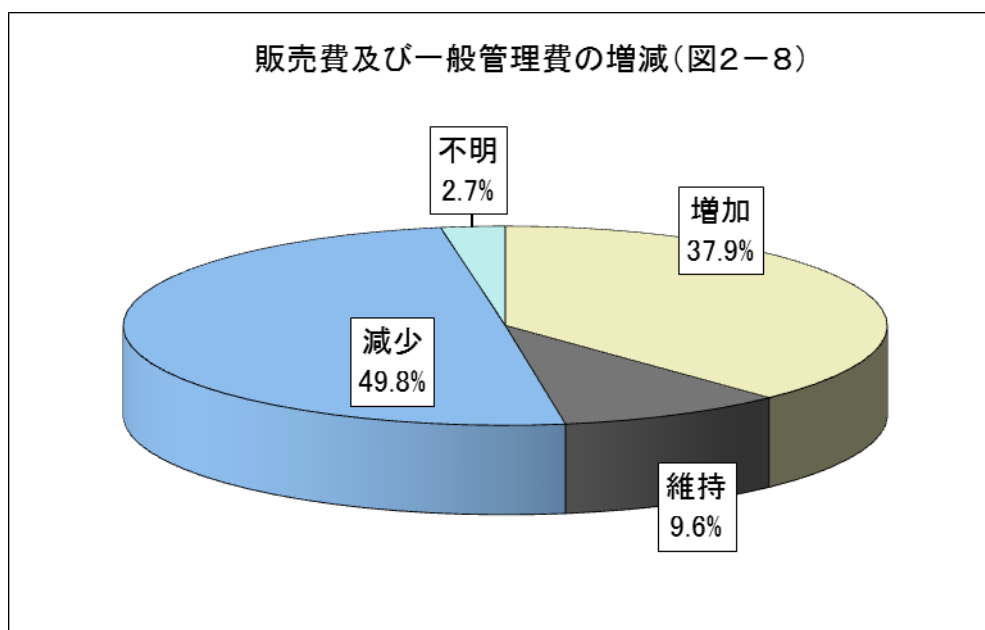
営業利益率の変化を上昇した業者数と下降した業者数の割合でみると、水産物部及び花き部では上昇した業者が半数以上となった。

営業利益率の変化（表 2 - 9）

	上昇した業者	下降した業者	不明
全 体	54.7 %	42.6 %	2.7 %
水産物部	58.3 %	38.5 %	3.2 %
青果部	49.7 %	48.1 %	2.2 %
花き部	51.2 %	48.8 %	0.0 %
食肉部	30.8 %	69.2 %	0.0 %

(9) 販売費及び一般管理費の増減

販売費及び一般管理費（以下、「販管費」）が減少した業者は49.8%であり、増加した業者は37.9%となった。



花き部及び食肉部では販管費が増加した業者が減少した業者を上回り、水産物部及び青果部では、減少した業者が増加した業者を上回った。

販売費及び一般管理費の増減（表2-10）

	増加した業者	維持した業者	減少した業者	不明
全体	37.9 %	9.6 %	49.8 %	2.7 %
水産物部	34.2 %	9.5 %	53.1 %	3.2 %
青果部	42.6 %	9.9 %	45.3 %	2.2 %
花き部	46.5 %	11.6 %	41.9 %	0.0 %
食肉部	57.7 %	3.8 %	38.5 %	0.0 %

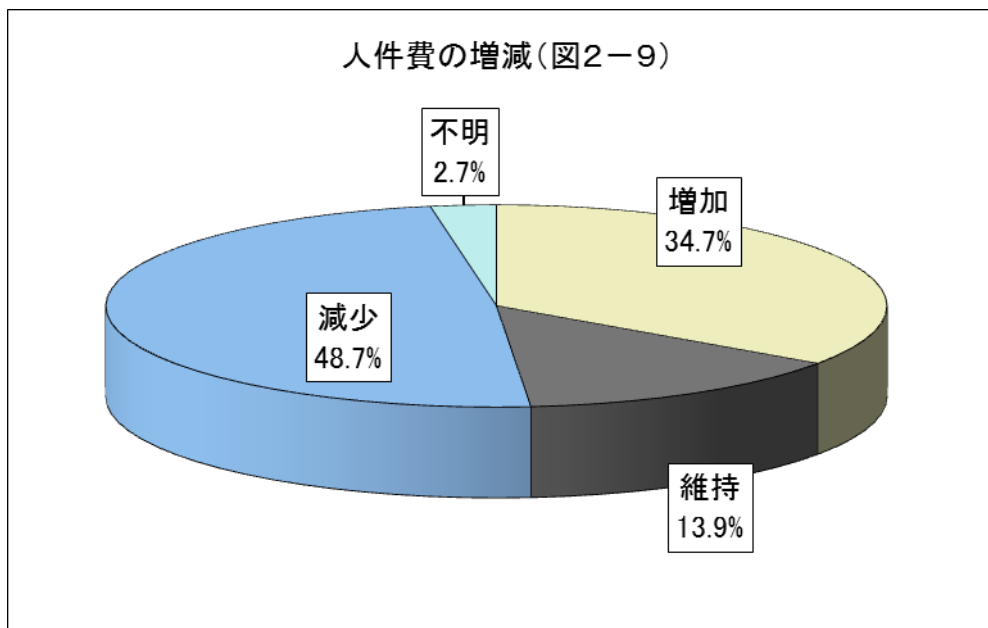
※ 維持は、前年比1%未満の増加及び減少。

(10) 人件費の増減

販管費の大半を占める人件費(※)が減少した業者は48.7%、増加した業者は34.7%、維持した業者は13.9%となり、前年同様、減少した業者が増加した業者を上回った。

※ 人件費とは、役員報酬、給与手当、福利厚生費、退職共済掛金など

※ 前年調査 減少59.9%、増加24.1%、維持11.6%、不明4.4%



部類別にみると、花き部は増加した業者が減少した業者を上回り、その他の部類は減少した業者が増加した業者を上回った。

人件費の増減(表2-11)

	増加した業者	維持した業者	減少した業者	不明
全体	34.7%	13.9%	48.7%	2.7%
水産物部	29.9%	16.0%	50.9%	3.2%
青果部	42.3%	9.3%	46.2%	2.2%
花き部	46.5%	18.6%	34.9%	0.0%
食肉部	42.3%	11.5%	46.2%	0.0%

※ 維持は、前年比1%未満の増加及び減少。

(11) 人件費比率の変化

売上高対人件費比率は、全体では前年に比べ下降した。部類別にみると、水産物部及び食肉部は下降し、青果部及び花き部では上昇した。

売上高対人件費比率（表2-12）

	平成24年	平成25年
全体	6.90%	6.78%
水産物部	9.06%	8.77%
青果部	5.86%	5.91%
花き部	9.14%	9.18%
食肉部	3.85%	3.40%

売上総利益対人件費比率は、全体では前年に比べ下降した。部類別にみると、水産物部及び青果部は下降し、花き部及び食肉部では上昇した。

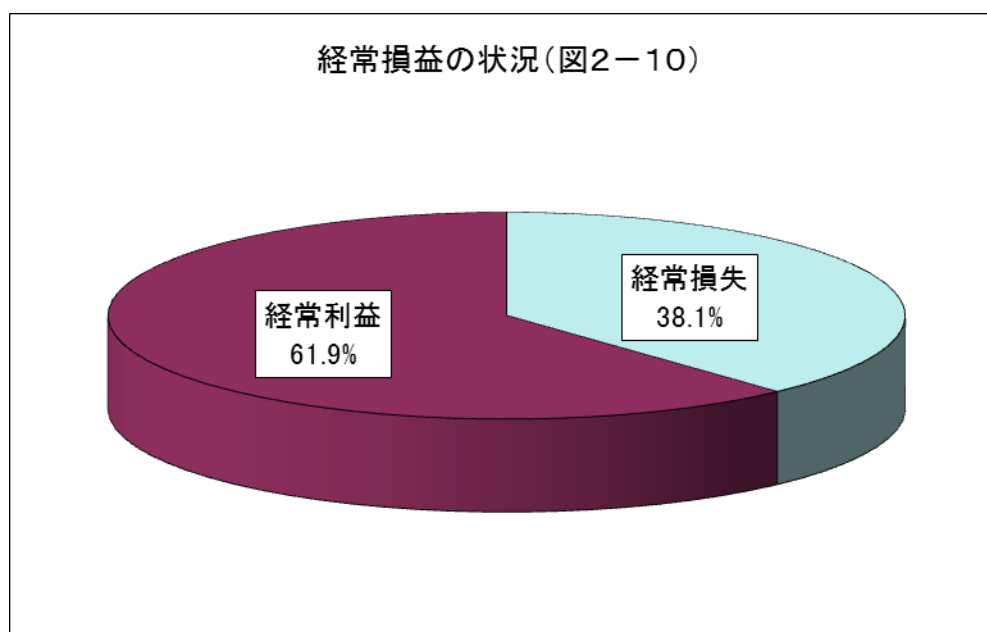
売上総利益対人件費比率（表2-13）

	平成24年	平成25年
全体	54.12%	52.41%
水産物部	61.76%	58.79%
青果部	49.35%	47.90%
花き部	54.73%	56.04%
食肉部	43.10%	43.86%

(12) 経常損益の状況

経常利益(黒字)を計上した業者の割合が61.9%、経常損失(赤字)を計上した業者の割合が38.1%と、前年に比べ赤字業者の割合が6.8ポイント減少した。

※ 前年調査では、黒字：赤字 = 55.1%：44.9%



前年と比較すると、水産物部及び青果部において黒字業者の割合が増加したが、花き部では減少し、食肉部は前年と変わらなかった。

経常損益の状況 (表2-14)

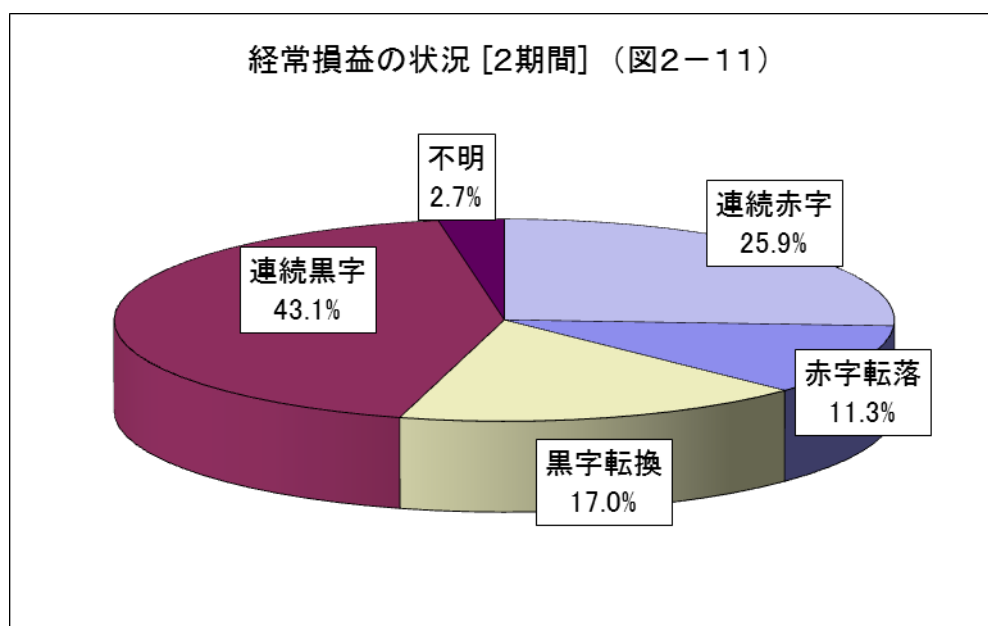
() 内は前年調査の数値

	経常利益 [黒字業者]	経常損失 [赤字業者]
全体	61.9% (55.1%)	38.1% (44.9%)
水産物部	60.1% (51.8%)	39.9% (48.2%)
青果部	66.0% (60.6%)	34.0% (39.4%)
花き部	65.1% (68.2%)	34.9% (31.8%)
食肉部	50.0% (50.0%)	50.0% (50.0%)

(13) 経常損益の状況 (2期間)

経常損益が2期連続して黒字計上となった業者の割合は43.1%となり、前年と比べ増加した。一方で、2期連続して赤字を計上した業者の割合は25.9%となり、前年に比べると減少した。また、黒字に転換した業者の割合が17.0%、赤字に転落した業者の割合が11.3%となった。

※ 前年調査 連続黒字32.3%、連続赤字32.7%、黒字転換19.6%、赤字転落11.0%



部類別では、連続黒字業者の割合は花き部が51.1%と5割を超えているが、その他の部類では5割に届かなかった。

経常損益の状況 (2期間) (表2-15)

() 内は前年調査の数値

	連続黒字業者	黒字転換業者	赤字転落業者	連続赤字業者	不明
全体	43.1% (32.3%)	17.0% (19.6%)	11.3% (11.0%)	25.9% (32.7%)	2.7% (4.4%)
水産物部	40.5% (26.6%)	17.8% (21.3%)	10.3% (10.2%)	28.2% (36.3%)	3.2% (5.6%)
青果部	47.8% (41.3%)	16.0% (17.4%)	11.9% (11.0%)	22.1% (28.0%)	2.2% (2.3%)
花き部	51.1% (52.3%)	14.0% (15.9%)	18.6% (15.9%)	16.3% (13.6%)	0.0% (2.3%)
食肉部	34.6% (35.7%)	15.4% (10.7%)	19.2% (21.4%)	30.8% (28.6%)	0.0% (3.6%)

(14) 経常利益率の変化

経常利益率は、全体では0.46%から0.67%へと上昇した。部類ごとにみると、食肉部で下降したが、その他の部類では上昇した。

経常利益率（表2-16）

	平成24年	平成25年
全体	0.46%	0.67%
水産物部	0.10%	0.55%
青果部	0.79%	0.93%
花き部	0.39%	0.42%
食肉部	△0.03%	△0.28%

経常利益率の変化を上昇した業者数と下降した業者数の割合でみると、水産物部及び青果部では上昇した業者が下降した業者を上回っているが、花き部及び食肉部では下降した業者が上昇した業者を上回った。

経常利益率の変化（表2-17）

	上昇した業者	下降した業者	不明
全体	53.3%	44.0%	2.7%
水産物部	56.0%	40.8%	3.2%
青果部	49.4%	48.4%	2.2%
花き部	48.8%	51.2%	0.0%
食肉部	38.5%	61.5%	0.0%

(15) 従事員1人当たり売上高

従事員1人当たり売上高は、青果部では減少したが、その他の部類においては増加した。

従事員1人当たり売上高(表2-18)

	平成24年	平成25年
全体	7,718 万円	7,717 万円
水産物部	5,654 万円	5,763 万円
青果部	9,502 万円	9,206 万円
花き部	4,725 万円	4,954 万円
食肉部	16,939 万円	17,924 万円

従事員1人当たり売上高の増減を増加した業者数と減少した業者数の割合でみると、全体では減少した業者が多かった。部類別にみると、食肉部では増加した業者が上回ったが、その他の部類では減少した業者が5割以上となった。

従事員1人当たり売上高の増減(表2-19)

	増加した業者	減少した業者	不明
全体	42.8 %	54.1 %	3.1 %
水産物部	42.9 %	53.6 %	3.5 %
青果部	40.1 %	57.0 %	2.9 %
花き部	44.2 %	55.8 %	0.0 %
食肉部	69.2 %	30.8 %	0.0 %

(16) 従事員1人当たり売上総利益

従事員1人当たり売上総利益は、食肉部では減少したが、その他の部類においては増加した。

従事員1人当たり売上総利益(表2-20)

	平成24年	平成25年
全体	984 万円	999 万円
水産物部	829 万円	859 万円
青果部	1,128 万円	1,136 万円
花き部	789 万円	811 万円
食肉部	1,515 万円	1,388 万円

従事員1人当たり売上総利益の増減を増加した業者数と減少した業者数の割合で見ると、全体では増加した業者が多かった。部類別にみると、水産物部及び青果部は増加した業者が、花き部及び食肉部では減少した業者が多かった。

従事員1人当たり売上総利益の増減(表2-21)

	増加した業者	減少した業者	不明
全体	50.5 %	46.4 %	3.1 %
水産物部	52.2 %	44.3 %	3.5 %
青果部	49.0 %	48.1 %	2.9 %
花き部	41.9 %	58.1 %	0.0 %
食肉部	42.3 %	57.7 %	0.0 %

(17) 従事員1人当たり人件費

従事員1人当たり人件費は、花き部では増加したが、その他の部類では減少した。

従事員1人当たり人件費(表2-22)

	平成24年	平成25年
全体	532万円	523万円
水産物部	512万円	505万円
青果部	557万円	544万円
花き部	432万円	455万円
食肉部	653万円	609万円

部類別に従事員1人当たり人件費の増減を増加した業者数と減少した業者数の割合で見ると、すべての部類で減少した業者の割合が5割以上となった。

従事員1人当たり人件費の増減(表2-23)

	増加した業者	減少した業者	不明
全体	42.2%	54.7%	3.1%
水産物部	43.1%	53.4%	3.5%
青果部	40.4%	56.7%	2.9%
花き部	39.5%	60.5%	0.0%
食肉部	46.2%	53.8%	0.0%